

教育目標
保育理念

「心も体もたくましい子ども」

- 丈夫な体の子ども
- よく考える子ども
- 豊かな心の子ども
- 仲良く遊ぶ子ども

重点目標 「自分のやりたいことに向かって満足するまで遊ぶ子ども」

重点Ⅰ 子どもに応じた援助の工夫

- 1 生活や遊びを通じた発達の支援
- 2 特別支援教育の充実
- 3 教育課程の見直しと幼小連携の充実

重点Ⅱ 保育者の資質、専門性の向上

- 1 実践に基づく研究・研修の充実
- 2 園内公開研の充実
- 3 今日的な課題への理解・対応

重点Ⅲ 安心・安全な生活・保育の充実

- 1 子どもの健康支援の充実
- 2 子どもの安全指導の充実
- 3 食育の推進及び家庭・地域との連携

重点Ⅳ 確かな園運営と子育て支援の充実

- 1 円滑なセンター運営の推進
- 2 子育て支援事業の充実
- 3 学校評価の充実及び服務規律の徹底

質の高い幼児教育・保育を目指して

《研究主題》「友だちと遊びに没頭する子ども」を目指して

【目指す先生の姿】

- 子どものことを第1に考える先生
- 子どもや親、同僚から信頼される先生
- 協力し合い、互いに高め合う先生

【0歳児の姿】

・身の回りの人や物に興味を広げて遊ぶ姿

各年齢の
目指す姿

- ① 健康な心と体
- ② 自立心
- ③ 協同性
- ④ 道徳性・規範意識の芽生え
- ⑤ 社会生活との関わり

小学校への円滑な
連携に向けて
(幼少連携会議)

【5歳児の姿】

・友だちと協力し、目的に向かって遊び進め、充実感を味わう姿

【1歳児の姿】

・好きな遊びを見つけてじっくり遊ぶ姿

幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿

- ⑥ 思考力の芽え
- ⑦ 自然との関り・生命尊重
- ⑧ 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚
- ⑨ 言葉による伝え合い
- ⑩ 豊かな感性と表現

【4歳児の姿】

・友だちと一緒に試行錯誤して遊びを進める楽しさを味わう姿

【2歳児の姿】

・保育者や友だちに思いを伝え、遊びを楽しむ姿

遊びを通しての
総合的な指導
を基にして

【3歳児の姿】

・友だちと思いを共有し一緒に遊びを楽しむ姿

幼児教育・保育において育みたい「3つ視点」と「5つの領域」

【0歳児（3つの視点）】

- ◇身体的発達(健やか・伸び伸び) ◇社会的発達(気持ちが通い合う)
- ◇精神的発達(感性が育つ)

【1歳児以上（5つの領域）】

- ◇心身の「健康」 ◇「人間関係」 ◇身近な「環境」との関わり
- ◇「言葉」の獲得 ◇感性と「表現」

幼児教育において育みたい3つの資質・能力（学校教育でも共通して育む力の基礎）

- 知識及び技能の基礎
- 思考力・判断力・表現力等の基礎
- 学びに向かう力、人間性等